

季節の味だより

● 山菜いろいろ

冬枯れの中からいち早く芽を出すフキノトウ(踏の躰)は、言うまでもなく踏の花芽。因みにこれが伸びてしまった状態を指して「躰が立つ」と言うのだそうです。ふきのとう味噌に天麩羅、食通にはほのかなあの苦みがたまらない。春の山菜の代表格です。



つくしは「土筆」。土から芽を出したスギナの茎が伸びきるまでは、節ごとに袴に覆われて居て、その姿がまるで「筆」のようなところから「土筆」の字が当てられるようになったのだとか。

その袴を取ってアクを抜き、佃煮などに。

観葉植物としても用いられる多年草シダのクサソテツの若芽、コゴミ(屈)。渦巻き状に丸まった軟らかな幼葉を摘んで、おひたしやサラダ、和え物、天麩羅に。ゼンマイなどと違ってアクがないので調理も容易。その他、ワラビやセリ、タラの芽などなど、春の日差しが降り注ぐ野辺に山菜を探しに出かけませんか？



● ほたるいか

体長5～6cmのちいさな体の表面や触手に細かな発光器が付いていて、何かに触れると宝石のような青緑色の光を発するところから、その名もホタルイカ。山陰沖で獲れるものが、いち早く市場に出回り始めます。さっと茹でて生薑醤油、わさび醤油、定番の酢味噌で、あるいはサラダ風な食べ方で。また味噌やマヨネーズなどに絡めて和え物もおいしい。



さらに揚げても焼いても、佃煮にしてもイケそうです。もちろん刺身という手もありますが、体内には旋尾線虫という寄生虫がおり、安全に食べるためには沸騰水に投入し30秒以上、中心温度60度以上で処理するか、十分な凍結処理が必要だとのこと。お酒のアテにもってこい！手要らずでカントンに食べられる山陰の旬の風味です。

民話とジゲの味と加茂川・中海遊覧と・・・

4月1日(土)～

5月31日(水)の間の

毎週土・日曜(5月21日を除く)

●午前の部/10:00～

●午後の部/12:00～

米子の下町から中海を巡る小船の遊覧と、米子井で語られる民話の数々、そして地元で採れた材料を使ったジゲの味を長門



屋(米子市岩倉町)で楽しめます。●定員は20名(定員になり次第締切・1名から受付)

●申込は希望日の3日前までに「代表者・連絡先・人数」を米子市観光協会まで。●参加料/2,500円●お問合せ/TEL.0859-37-2311 FAX.0859-37-2377※郵送、E-mailでも承ります。

展覧会 Pick up!

■ 新米子市の歴史を知ろう

～西伯耆のサイの神～

1月22日(日)～3月26日(日)

開館時間/9:00～16:30

米子市淀江民俗資料館



旅の安全と悪霊の侵入を防ぐために、村の入り口や路傍に祀られた神様がいわゆる道祖神。伯耆地方では江戸中期以降、男女の二神像を石に彫って祭神とするようになり、大山山麓に分布する男女双体神像は「サイの神さん」と呼ばれ、今も「縁結びの神」として親しまれています。この企画展では、昔から親しまれてきたサイの神の現物や拓本、写真などの他、祭りの時に供えられるワラ馬も展示。ワラ馬は30cm位のものから、子供の健康な成長を願って乗せるように1mを超える大きなものまで。時代を超えて受け継がれてきたサイの神さんへの素朴な祈りの風習、庶民信仰の姿を知れば、このふるさとがもっともっと好きになるはず。●お問合せ/TEL.0859-56-3316

■ 春季特別展「自然賛歌」

併催:「南画の世界」「横山大観名品選」

3月1日(水)～5月31日(水)

開館時間/9:00～17:30(年中無休)

足立美術館

四季折々に変化に富んだ美しい自然に接することができる国、日本。私たちはその微かな移り変わりを、日々の生活の中でいつも身近に感じてきました。草木が芽吹く春の景色には心を浮き立たせ、落ち葉が舞う秋の情景には物悲しさを覚えるように、自然は私たちの心に映り込み、さらに自らの感情を移入することでいっそう心を揺さぶられるものとなります。



横山大観 雨霽る(昭和15年)

日本画の世界でも自然の風景は画家たちを強く引きつけ、多くの作品として描かれてきました。細やかな自然観察によって、様々な視点で描き出された作品からは、画家が抱いた感動がうかがえることでしょう。「自然讃歌」と題し、人々を魅了しつづける自然を題材とした素晴らしい作品が展示された春季特別展。そこでまたあらためて、日本の美しい自然を感じることが出来るはずです。

●入館料/大人2,200円・大学生1,700円・高校生900円・小中学生400円●お問合せ/TEL.0854-28-7111

<主な出品作品>

●竹内栖鳳「潮沙和暖」「四季花鳥図」●横山大観「雨霽る」「海潮四題・秋」「漁夫」●川合玉堂「夕月夜」「湖畔の雪」●西村五雲「梅雨」「寒梅」●川村曼舟「夕映」●前田青邨「鶴」●神原紫峰「五月頃の雨」「黄菊小禽図」「菊花」●小茂田青樹「朝露」「雪後」●酒井三良「北越雪信」●奥田元宋「日照雨」

小さな夢美術館

～3月10日(金)館蔵コレクション展(入館料/500円)

3月22日(水)～4月30日(日)平沢淑子展(入館料/700円)

●開館時間/10:30～18:00

●休館日/毎週月・火曜日(ただし祝日開館)

12月～2月予約の場合のみ開館

●お問合せ/TEL.0859-31-1262

■ 春期特別企画展「石の鼓動展」

～来待石を中心とする鳥根の銘石の使われ方～

3月8日(水)～4月10日(月) 開館時間/9:00～17:00

モニュメント・ミュージアム 来待ストーン



鳥根県には古来より使われ続けてきた数々の銘石があります。これらは各市町村を代表する銘石であり、文化財となったり、街並形成に役立ってきました。石によって街の色が変わると言ってもいいでしょう。しかし今ではこれらの石のほとんどが「幻の石」となって使われな

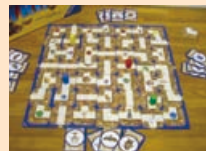
くなりつつあります。各市町村を代表する石とは？それが暮らしの中でどんな風に使われてきたのか、またどんな意味を持っていたのか……。たかが石、されど石！この企画展は石を通して私たちの郷土のヒミツを解き明かしてくれます。●お問合せ/TEL.0852-66-9050 ●入館料/一般 300円 小中学生 150円

■ 親子で熱中!!アナログゲームの世界

～ボードゲーム・パズル展～

3月25日(土)～5月7日(日)

本学校 2階 ロビー



大勢で、ときには一人で、電気を使わないアナログな遊びをしてみませんか？世界には私たちが知らない、楽しい、優れた遊びがたくさんあります。今回はTOY POPの協力により、室内で大人も子どもも本気で熱中できる遊びを紹介。ドイツのゲーム大賞をとったボードゲームなどを中心に、約30点を一斉に展示します。体験コーナーでパズルやボードゲームもできます。家族で、友達と、偶然居合わせた人といっしょに遊んでみてください。●お問合せ/TEL.0859-31-5001

親も子どもも本気で楽しめる

★ボードゲーム大会 参加費/無料

4月2日(日) 14:00～ 本学校2階 多目的ホール
ルールは簡単。初めのうちは親子のチームで、慣れてきたら個人で、ボードゲームに参加してもらいます。本場ドイツの3～4種類のボードゲームを使用します。百聞は一見に!!春休みにぜひ親子で参加してみましょう。

■ 南部町法勝寺一式飾り

4月8日(土) 11:00～20:00 9日(日) 9:00～20:00

南部町法勝寺宿



一式飾りとは佐義長(とんど)の行事として、南部町法勝寺宿で今も引き継がれている素朴な民衆芸術のひとつで、全国的にも珍しく、南部町の無形文化財として指定されています。

一式飾り作成にあての厳しい条件。それは食器なら食器一式、竹製品なら竹一式……というように同一種類の素材で構成されること。題材にはその年の干支や、近年ではドラマの主人公など、パリエーションに富んだものが、それぞれに創意工夫をこらして作られ、この日いっせいに公開されます。さあ今年はどんな作品が?お花見にあわせ、ぜひ立ち寄ってみたいものです。●お問合せ/TEL.0859-66-5111